

トリノの2回目（追記）

トリノは、とても日帰りではカバーできません。そこで、土、日曜日を利用して1泊で行ってきました。結論から言うと、1泊でも、トリノを見て味わうには十分ではありません。ミラノと同じく大きくて非常に奥の深い街で、歴史と自然にあふれています。もし、今回もらってきた資料によると、トリノ郊外の観光地や山々を加えると、更に、すばらしいところがいっぱい出てきます。そうすると、最低でも1週間くらいは必要かもしれません。トリノのインフォメーションでは、トリノ・パス（2日間以上で、交通機関も美術館・博物館もすべてフリー）を売っていますが、トリノ市街地だけでなく郊外（ピエモンテ州内）もカバーされている上に、2日から1週間以上のパスまであります。それを使って、1週間休暇をとり、ゆっくり出来たら最高でしょうね。トリノは観光だけではなく、食べ物もショッピングも最高です。街の中にはチョコレートを初めとした甘いもの屋及び甘いものが置いてあるカフェがあふれています。Slow Food で有名なレストランもいっぱいあります。同じく Slow Food の食材店の Eataly もトリノに本店（ミラノの支店とは違ってとても大きな店舗です）があります。従って、観光しながら食べ歩きがトリノの楽しみ方です。また、街のあちこちには、街頭マーケットも出ていて、いろいろなものを売っていました。もちろん、ミラノと同じブランドショップもたつぷりとあります。要するに、トリノは人口も多く活気のある街なのです。今回は、そのほんの一部だけを体験してきました。

午前11時半にトリノに着くと直ぐに、駅のインフォメーションで2日間のパス（1人19ユーロ）とチョコレート・パスなるもの（10ユーロ）を購入して出発です。まずは、ウィンドウショッピングとチョコレート屋に寄りながら、Slow Food のレストラン（Sotto di Mole）に行き白トリフを食べました。何ともいえない匂い（ガスの匂いのように感じました）のトリフを食べて、これがトリフだと実感し堪能しました。これで、トリノに来た目的の50%を達成です。もちろん、トリフ以外にも美味しく頂きました。その後、トリノのシンボルである167.5メートルのモーリ・アントネッリアーナに上がり、生憎の曇り空でしたがトリノの街を一望して、ついでに映画博物館を見学しました。何故か、「ローマの休日」と「ライフイズビューティフル」がないのが不満でした。それから、世界遺産のひとつでもあるマダマ宮殿に行き、内部を見学、続けて同じく世界遺産の王宮に行きましたがここはガイド付き見学なので夕方6時からとなり、時間が少しあいたので、ドゥオモに行き内部鑑賞と聖骸布、及び王宮横のローマ遺跡をみて王宮に戻り、王宮内をイタリア語のガイド付きで見学しました。何を言っているのかさっぱりわかりませんでした。中世のフランス風宮殿をたつぷりと見て回りました。これで、もう、7時半を回り、後は、ガルバルディ通りをウィンドウショッピング・教会めぐりをしてホテルに向かいチェックイン。しかし、直ぐにホテルを出て、今度は、Slow Food の食材店である Eataly 本店まで行きショッピングです。Eataly 中のイトインで食事の予定でしたが、夜の8時過ぎだというのにイトインは満員で席が開くのを待つ人であふれていたので、食材を買って10時半過ぎにホテルに戻り、ホテルの部屋で Eataly の食材を堪能しました。



次の日は、朝からまたチョコレート屋に寄りながら、ローマ時代の遺跡もみつつ La Consolata 教会へ行くと日曜日のミサをやっていました。さすがにトリノの聖域教会だけあってすばらしい教会でした。その前にあるチョコレート屋兼カフェ（ミサの帰りの客で満員でした）で、チョコレート・パスのサービスであるケーキとカフェを食し、今度は、エジプト博物館です。エジプト博物館はアカメディア宮殿にあり、その周りにも世界遺産の宮殿が立ち並ぶ豪華な宮殿街の一角にあります。エジプト博物館にはミイラを初めとしてすごい数の展示物があります（大英博物館、カイロ博物館に次ぐ数だそうです）。なぜ、トリノにこんなものがあるのか不思議なのですが、十分に見ごたえがあります。



その後、ポー川の畔を散歩して、駅に戻り、駅からバスに乗り、いよいよ、郊外にあるヴェナリア城に向かいました。バスで、約 35 分で到着です。ここは、宮殿と庭がすばらしいところです。ピエモ

ンテのヴェルサイユ宮殿と呼ばれているところで、ここも世界遺産に登録されています。話によると、ここを参考にしてヴェルサイユ宮殿を造ったとのこと。但し、この大きな宮殿は、ナポレオンが攻め込んだときに破壊されて、すべての調度品は持ち去られたとのことなので、宮殿はまだ修復中のところもあり、王宮やマダマ宮殿に比べると、内部装飾や調度品はほとんど何もなくすっきりとしています。その代わりに、いろいろと趣向が凝らされていて、観光客を楽しませてくれます。庭は広大ですばらしいのですが、まだ完全には修復されていません。でも、5月くらいに来ると、藤とバラがきれいに咲いて、ものすごくきれいになると思います。帰りの列車の時間の関係から、駆け足の見学でしたが、ヴェナリア城周辺の自然や街も含めて、ゆっくりと来たいところです。



最後は、トリノの観光情報です。まず、ホテルですが、トリノはホテルがいっぱいあります。多分、オリンピックのおかげでしょう。そのために、土、日曜日は、結構空いていて、格安料金で泊まることができます。今回は、4つ星のホテルでツインが1泊朝食付きで89ユーロでした。朝食もビュッフェで充実しています。また、観光も充実していて、街の目につくところにはツアーリスト・インフォメーションがあります。その中の人も親切で、必要以上にいろいろと教えてくれます。前述したトリノ・パスも、カバーされている範囲が広く、これをもっていると安心して、交通機関も自由に利用でき、どこの博物館でも心配なく入る事が出来てかなり便利です。ヴェナリア城への往復や入場券もすべてこのパスに含まれています。但し、1日パスは無く、2日パス以上となります。

Slow Foodのレストランは最高でした。入口にはミシュランのステッカーが貼られていますが、入口が質素なので教えてもらっていないとわからないかもしれません。教えていただいた最上さんには非常に感謝しています。